

エコパルなごや

春号
Vol.98

かんきょうをたのしく学ぶ

特集

絶滅のおそれのある生きものたちを考えよう！

以前、日本のあちこちで見られた「トキ」という鳥を知っていますか。

2003年に野生の日本の「トキ」は絶滅してしまいました。明治時代に羽毛を取るために乱獲されたことや、森林の伐採や山間部の水田の消失など、トキのすみ場所や食べものが無くなってしまったことが原因と考えられています。

人工飼育したり、水田で農薬を使わないようにするなど、国や住民が保護活動や環境を守る活動に取り組んだ結果、生息しているトキの数は少しずつ増えてきました。

夏の暑い時期に土用の丑でお馴染みの「ウナギ」や、香り高く秋の味覚の王様である「マツタケ」も、トキと同じように「絶滅のおそれのある生きもの」です。

わたしたちの暮らしとも、とてもよく関わっている「絶滅のおそれのある生きもの」について考えることで、地球全体の環境を守り、人と自然の豊かな関係を見つめ直してみましょう。

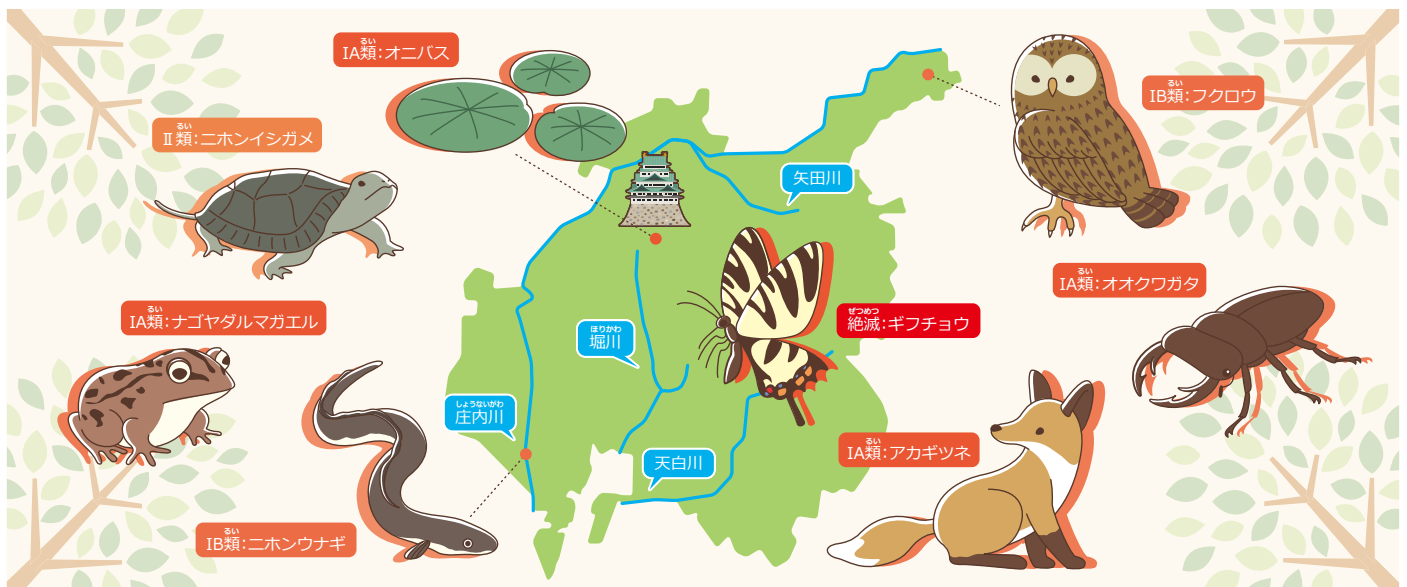
13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさ
を守ろう



15 陸の豊かさ
を守ろう



いろいろな話題をお届けします。

特集

絶滅のおそれのある生きものたちを考えよう！

エコパル
NEWS

特別ワークショップ、マンスリー企画展示、フードドライブ
なごや環境大学

地球上の生きものたちに何が起きている？

地球上には、森林や草原、河川、砂漠、海洋やサンゴ礁などさまざまな環境があり、3,000万種とも言われる生きものが関わり合いながら生息・生育しています。

自然界で起こる絶滅とは異なり、地球温暖化による気候の変化をはじめ、森林の破壊や開発、乱獲や外来種の持ち込みなど私たち人間の活動により、さまざまな生きものが絶滅の危機に瀕しています。1975年以前は1年間に絶滅する生きものは1種以下でしたが、現在はそのスピードは増して、1年間で4万種の生きものが絶滅していると言われています。

日本でも、ニホンオオカミやトキなどの野生の生きものが絶滅しています。

《1年間で絶滅した種の数》



生きものの豊かなつながりを守る

現代は、過去に例をみないほどの速さでさまざまな環境の変化が生じています。

1992年に結ばれた生物多様性条約に基づき策定された国の「生物多様性国家戦略」では、日本の生物多様性を脅かす要因を次の4つに整理しています。

開発や乱獲など 人の営みによる 危機

沿岸域の埋め立て、農地の整備などは、生きものにとって生息・生育環境の破壊と劣化をもたらします。生きものを過剰に捕獲・採取することは個体数の減少をもたらしています。

日本の干潟面積は埋め立てにより50年前の半分近くに減少し、それに伴い、干潟で生息する生きものも減少しており、渡り鳥の中継地として日本の干潟で餌を食べるシギ・チドリ類にも影響が出ています。

自然に対する 働きかけの 縮小による危機

里地里山などは、経済活動に必要なものとして維持され、その環境に特有の多様な生きものを育んできました。

森林から薪などの利用が無くなると、人間の営みによって維持されてきた生態系のバランスが崩れて、昆虫などの生きものが減ったり、ニホンジカなどによる農林業被害が増えるなどの変化が生じています。

人間により 持ち込まれた ものによる危機

「外来種」とは、人間の活動によって、ほかの地域からもともといなかった地域に入り込んだ生きものです。

持ち込まれた先でもともと住んでいた生きものを食べてしまったり、大きな被害を与える可能性があります。

アメリカから持ち込まれたアライグマは、近年、生息域が大きく広がっており、農作物を食べてしまったり、もともと日本にいたイシガメを襲うなど被害の拡大が心配されています。

地球環境の 変化による 危機

燃料の大量消費や森林の伐採が進んだ結果、大気中の温室効果ガスが増え、地球全体の気温が上昇しています（「地球温暖化」と言われています）。

大雨の日が増える、雪が減るなどの気候の変化、開花や紅葉といった生きものの季節性が変わってしまったり、生きものが本来の生息地にすめなくなって分布が変わったりするなど、さまざまな影響が心配されています。

(出所) 環境省 「モニタリングサイト1000第3期とりまとめ報告書」 概要版から引用

レッドリストやレッドデータブックって何？

〈レッドリストとレッドデータブックの違い〉

野生生物を絶滅させないようにするためには、そのおそれがある野生生物が生息・生育している環境の状況を正確に調査して、その状況に応じた対策をとることが必要になってきます。

絶滅のおそれのある野生生物をリストアップした一覧表を「レッドリスト」、その一つの種ごとに生息・生育状況や特徴などの解説をまとめた資料集を「レッドデータブック」と言います。

レッドリスト	生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を科学的・客観的に評価し、その結果をリストとしてまとめたもの	国では、おおむね5年ごとに全体的な見直し
レッドデータブック	レッドリストに掲載された種について、それらの生息・生育状況や存続を脅かしている原因等を解説したもの	国では、おおむね10年ごとに刊行

注：国では2012年度に第4次レッドリストを公表していますが、2015年度より時期を定めずに必要に応じて（出所）環境省ウェブサイト「自然環境・生物多様性」から作成個別に改訂することとし、最新の改訂版は2019年度に公表した「レッドリスト2020」です。

レッドリストやレッドデータブックは、生きものの生息・生育状況がそれぞれの地域で異なるため、国のほか都道府県や市町村でも独自に作成しています。

国全体ではまだ大丈夫とされた生きものでも、名古屋市だけみると危機的状況にある場合があります。

〈絶滅のおそれのある種のカテゴリー（ランク）〉

レッドリストでは、種ごとに絶滅のおそれのある程度に応じて、次のようにカテゴリー分けをして評価しています。
掲載された種のうち、近い将来における絶滅の危険度が高いものとされる絶滅危惧Ⅰ類及びⅠ類ほどでないものの絶滅の危険度が増大しているとされる絶滅危惧Ⅱ類に評価された種を「絶滅危惧種」と呼んでいます。

カテゴリー		定 義	
ぜつめつ 絶滅 (EX)		わが国ではすでに絶滅したと考えられる種	
ぜつめつ 野生絶滅 (EW)		飼育・栽培下あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種	
絶滅危惧	ぜつめつ き ぐ るい 絶滅危惧Ⅰ類 (CR + EN)	ぜつめつ き き ひん しゆ 絶滅の危機に瀕している種	
		ぜつめつ き ぐ るい 絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
		ぜつめつ き ぐ るい 絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	ぜつめつ き ぐ るい 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)		ぜつめつ き けん ぞうだい しゆ 絶滅の危険が増大している種
じゅんぜつめつ き ぐ 準絶滅危惧 (NT)		げん じ てん ぜつめつ き けん ど じょうけん へん か ぜつめつ き ぐ い こう 現時点では絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種	
じょうほう ぶ そく 情報不足 (DD)		ひょうか じょうほう ふ そく しゆ 評価するだけの情報が不足している種	
ふ ぞく しりょう 付属資料 「ぜつめつ ち い き こ たいぐん 絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)」		ち い きてき こ りつ こ たいぐん ぜつめつ 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの	

（出所）環境省ウェブサイト「自然環境・生物多様性」から作成

身近な絶滅のおそれのある生きもの～名古屋市版レッドリスト2020より～

名古屋市では、絶滅のおそれのある野生生物に関する市民の理解を深めるため、2020年3月に「名古屋市版レッドリスト2020」を作成しています。

野生生物の生息・生育状況は常に変化しており、定期的に調査し、評価を見直すことが不可欠なため、おおむね5年ごとに名古屋市内における動植物の生息・生育などの調査を行い、取りまとめています。

〈名古屋市版レッドリスト2020の概要〉

名古屋市版のレッドリストに掲載された種は植物で335種、動物で419種の合計754種です。このうち、絶滅危惧種は植物で197種、動物で216種の合計413種です。5年前と比べて24種増えています。

その主な要因は、開発などによる生息・生育地の悪化、植生遷移の進行による生息・生育環境の変化、調査の進展による新たな種の追加です。

また、ギフチョウなど新たに14種が加わって115種が絶滅と評価されました。

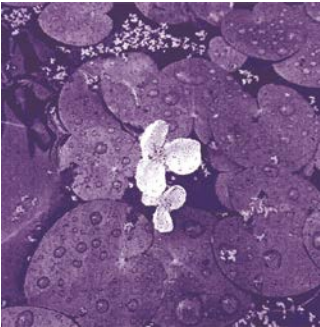
【レッドリストに掲載された絶滅のおそれのある種数の推移】

	2002年版	2010年版	2015年版	2020年版
植 物	155種	167種	182種	197種
動 物	123種	178種	207種	216種
合 計	278種	345種	389種	413種

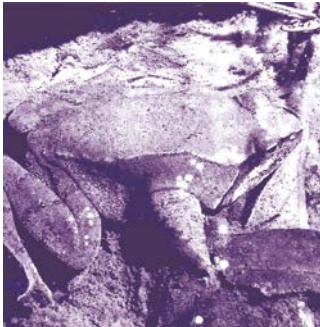
※絶滅のおそれのある種（絶滅危惧種）とは、絶滅危惧ⅠA類（CR）、絶滅危惧ⅠB類（EN）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）

〈名古屋市版レッドリスト2020で注目したい野生生物〉

【植物】

トチカガミ 絶滅（EX） →絶滅危惧ⅠA類	タシロラン ランク外（未発見） →絶滅危惧ⅠB類
レッドリスト2015で「絶滅」としていた「トチカガミ」が、2017年9月に名古屋城外堀で37年ぶりに再確認され、「絶滅危惧ⅠA類」に変更されました。	本来は希少な植物です。近年は全国的にも増加傾向にあり、名古屋市でも今回の調査により天白区での生育が確認され、「絶滅危惧ⅠB類」に追加されました。
	

【動物】

タゴガエル ランク外（未発見） →情報不足（DD）	ギフチョウ 絶滅危惧ⅠA類（CR） →絶滅（EX）
東谷山の小溪流で、希少種であるタゴガエルが初めて発見されました。一方、カエル類の減少が著しく、名古屋市内では都市化の進展によりカエルにとっての生活環境が悪化し、生息地や個体数を減らしています。	春を代表するアゲハチョウで日本の固有種です。長年名古屋市内では確認されていないことから「絶滅」に変更されました。
	
タゴガエル（村松正雄さん撮影）	ギフチョウ（高崎保郎さん撮影）

わたしたちにできること～外来種による被害を予防するために～

外来種とは、その地域に生息・生育していなかったのに、人間によって持ち込まれた生きものを指し、その地域にもともといる生きものは在来種と言います。

国外から持ち込まれる（国外由来の外来種）こともあれば、国内の別の地域から持ち込まれる（国内由来の外来種）こともあります。右の写真は国外由来の外来種の一例です。

外来種の中で、在来種を食べたり、すみ場所や餌などを奪ったりするなど生態系に悪影響を与えるおそれのあるものがあります。

飼っている外来種がいる場合には絶対に「捨てない」など、わたしたちにできることを心がけることが大切です。



アライグマ



ミシシippieアカミミガメ

1 入れない

外来種被害
予防三原則

外来種を
本来分布しない
地域へいれない

2 捨てない

飼育・栽培している
外来種を
野外に捨てない

3 拡げない

すでに野外にいる
外来種を
他の地域に拡げない

せん定枝を使ったぶたカエルづくり

- 日時** 5月30日(日) 10:30～11:10、13:00～13:40
対象 3歳～12歳 親子参加OK (小学3年生以下は保護者同伴)
定員 各15名(要申込・先着順) ※5月11日(火)受付開始
費用 500円
内容 公園や街路樹などのせん定した枝等を使った工作教室。
 手のひらサイズのかawaii「ぶたカエル」を作ります。
講師 もくもく楽舎 たけちゃん工房

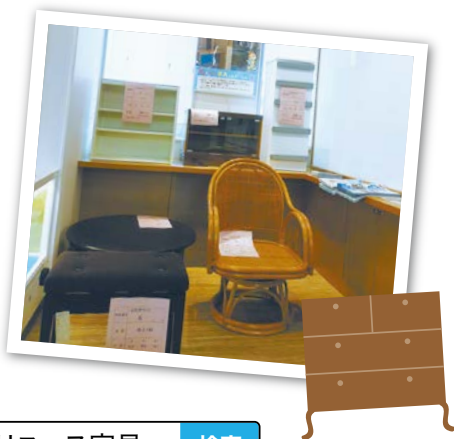


マンスリー企画展示

5・6月
テーマ

リユース家具の展示・抽選販売

- 出展者** 環境局減量推進室
内容 名古屋市では、物を大切にす意識向上のため、粗大ごみの中でもまだ使用可能な家具類を回収し、展示・抽選販売を実施しています。
展示・申込期間 5月1日(土)～20日(木)
 6月2日(水)～20日(日)



展示内容はこちらから確認いただけます↓

<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000042159.html>

名古屋市 リユース家具

検索

エコパルなごやで、

フードドライブ

を実施しています！

いただきものの詰め合わせを消費できない、もったいなくて捨てられない…そういった家庭にある手つかずの食品をお持ちください。フードバンク「セカンドハーベスト名古屋」を通じて、食べ物が必要とする方に届けられます。

- 日時** 毎月8日～14日 9:30～17:00(休館日を除く)
場所 エコパルなごや

★なごや生物多様性センター(天白区元八事5-230 TEL:052-831-8104)でも同様に実施しています



詳しくはこちら↓ ※受取ができる食品には条件があります。

<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000096920.html>

名古屋市 フードドライブ

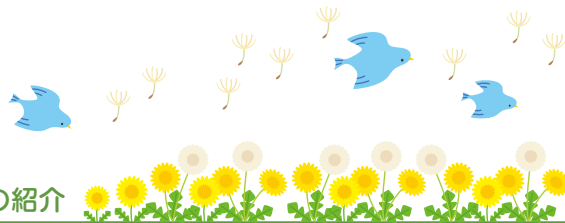
検索





なごや環境大学

なごや環境大学ガイドブック2021前期号の紹介



「なごや環境大学ガイドブック2021 前期号」配布中！

子どもから大人まで、誰もが気軽に参加できる環境講座をまとめた「なごや環境大学ガイドブック2021前期号」を無料配布中です。様々な講座の内容、スケジュールをこの冊子でぜひご確認ください。ウェブサイトでもご覧頂けます。



配布場所 名古屋市内の各区役所、図書館、生涯学習センター、スポーツセンター等

愛岐の里山たいけん隊

～春の里山によう～

岐阜県多治見市諏訪町にある愛岐処分場は、名古屋市のごみの最終処分場です。敷地内には地元の人と一緒に再生した自然豊かな「里山」があります。「里山」で、田植えなどの体験を通じて春の自然を満喫しましょう！お昼は諏訪町産の食材をメインに使ったおいしい手作りごはんをいただきます♪たくさんのご応募お待ちしております！（雨天時は中止となる場合があります）

日時 5月23日(日) 8:20～16:30

場所 名古屋市愛岐処分場（多治見市）

里山までは、エコパからバスで行きます。

受講料 1,500 円（バス代・保険料代）+ 振込手数料（要事前振込）

※お振込み先の詳細は抽選後にお知らせいたします。

対象 小学4年生から中学2年生まで

定員 30 名

申込 4月30日(金) 必着・抽選

共催 名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」

旅行企画・実施・お支払先

(株)ツーリスト中部（愛知県知事登録旅行業 第2-1133号）

総合旅行業務取締役 平本 直靖

〒452-0903 愛知県清須市助七1-176 片岡ビル1階

TEL: 052-409-8070 FAX: 052-409-9130



きのこの菌うちに挑戦



秋の実りが楽しみです。

お申込・お問合せ先

①お名前・フリガナ、②学校名、③学年、④性別、⑤ご住所、⑥電話番号、⑦FAX 番号、⑧メールアドレス、⑨アレルギー・バス酔いの有無をご記入の上、メール、FAX で下記まで。

「なごや環境大学」実行委員会事務局（エコパルなごや内）
〒460-0008

名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階

TEL&FAX: 052-223-1223

E-mail: jimun@n-kd.jp

HP: https://www.n-kd.jp

ゴールデンウィーク期間の開館日のお知らせ 〈開館日〉4月29日(木・祝)～5月5日(水・祝) 〈閉館日〉5月6日(木)

エコパルなごやのメールマガジン「エコパル通信」のお知らせ

エコパルなごやのイベントや展示情報、なごや環境大学の講座情報など最新情報をタイムリーにお知らせします。エコパルなごやウェブサイトのトップページ「エコパル通信」の登録フォームにメールアドレスを入力すると登録できます。

エコパルなごや

登録

名古屋市環境学習センター エコパルなごや

申込・問合せ先

TEL: 052-223-1066 FAX: 052-223-4199

http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/

E-mail: a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階

地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅「6番出口」徒歩7分

■開館時間／午前9時30分～午後5時 ■入館料／無料

■休館日／毎週月曜日 祝日の場合はその翌平日

年末年始 12月29日～1月3日

エコパルなごや



(消防署があるビルの13階)

